

# とおちっ子

十市小学校だより第31号

令和6年12月18日

文責 藤川 尚司

前週末、6年生の学級閉鎖をしました。インフルエンザに罹患した欠席者と体調不良の子どもが複数見られたため、校医さんとも相談して、感染拡大を防ぐための対応を取りました。幸いなことに週明けからはみんな元気に登校し、日常の学校生活に戻っています。

報道によれば、全国的にみられる今のインフルエンザの流行は、本格的な寒さが訪れる年明けからもっと大きくなるという予測もあるそうです。年末年始は人の移動が盛んになる時期ですから、お互いに気を付け合って生活しましょう。

## 学習成果プレゼン発表

\*\*\*

12月12日(木)に、6年生が学習した内容をまとめて、4年生にプレゼンテーションをしました。

グローバル社会の進展の中で、ICTを活用して集めた情報をまとめたり、自分の考えなどを踏まえながら発信をしたりする、いわゆる情報活用能力を育てていくことは、とても大切な教育課題となっています。そこで、学校ではタブレット端末の活用や図書の利用などを進めています。6年生のプレゼンテーションも、その一環です。

今回のプレゼンテーションの大きなテーマは、SDGs(持続可能な開発目標)についてです。世界中の環境や差別、貧困などの世界的な問題を2030年までにみんなで解決していこうとする計画や目標がSDGsです。6年生は、SDGsについて国語科や家庭科の時間に学習し、掲げられた目標等の中から自分たちが調べる個々のテ



ーマを決めて、プレゼンテーションにまとめました。

6年生が学習を進める過程も何度かのぞかせてもらいましたが、みんなタブレット端末を駆使して、図書やネットで調べた内容をまとめていました。プレゼンテーションを仕上げるまでは、ずいぶん苦心したんだろうと思います。

さて、多目的室で6年生が披露した発表ですが、それは見事な内容でした。クイズなどを交えながらの説明したり、様々なグラフや画像をまとめて資料として示したりして、実に分かりやすいプレゼンテーションに仕上がっていました。我々も仕事でプレゼンテーションをすることはありますが、顔負けの出来栄でした。

6年生のプレゼンテーションを4年生は興味深そうに見ていました。最後には、プレゼンテーションの感想を何人もが発表してくれました。4年生にとっては、ひとつのお手本になったのではないかと思います。

場面は変わって、12月13日(金)に、2年生がまち探検で調べたことをまとめて、1年生に発表をしました。

2年生は、地域の量販店や病院などを訪ねて、見学や聞き取りしたことを模造紙にまとめました。その模造紙を示して、元気よく発表してくれました。2年生は1年生にしっかり伝えるように説明を頑張る姿が立派でした。

6年生のICTを利用したものとはやや趣は異なりますが、これも立派なプレゼンテーションです。下学年からのこうした学習が、上級生のプレゼンにつながっていきます。自分が興味を持ったことを調べて、誰かに説明するという機会をこれからも積極的に設けて、情報活用能力の育成に努めたいと思います。



### ひとこと

以前本紙面で、地域の方から子どもたちの自転車の乗り方が気になるというご指摘をいただいたことをお伝えしましたが、あらためて危険な自転車の乗り方について声が届きました。交差点で左右確認や一時停止をせず、坂道を猛スピードで下る自転車が見られ、極めて危険だとのことでした。

もうすぐ冬休みになり、子どもたちが自転車を利用する機会も増えるかと思えます。学校でも指導は致しますが、各ご家庭でも自転車の利用、乗り方についてご指導いただくことができれば幸いです。